Tangent Point　県内図書館からの報告

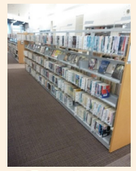
## 珠洲市民図書館より


地震直後の様子

珠洲市民図書館は、令和６年１月１日能登半島地震により、本やDVDの約８割が落下しました。職員が手分けして、まず、児童書の文学と絵本、一般書の小説を整え、残りは一旦平積みし、1月9日から開館し、整えていきました。

震災から１年余りは、学習室、会議室、多目的室、ラウンジは罹災証明等の事務に職員やボランティアが使用していて、当館は本の貸し借りが中心の業務でしたが、住宅再建、地盤改良等の本を集めたコーナーを設置しました。また、令和5年、令和6年の能登半島地震関連の本を展示コーナーに展示し、市民への情報提供に努めました。

地震後、来館者数は一時半減しましたが、徐々に増え、現在は地震前と同じくらいに戻りました。


現在の様子

当館は、過疎から脱却するための交流施設という側面から本の貸し出しだけでなく、住民同士が気軽に交流できる施設です。地震後は高齢者の利用も増えました。仮設住宅で一人で暮らす人も多く、ここに来ると「人に会える」と感じるのだと思います。子どもの数も減りましたが、学校が終わってから勉強をしに来る中・高生も多くなりました。まだまだ復興途中の珠洲ですが、「知りたい・学びたい・楽しみたい」というモットーを大切にし、これからも珠洲の人たちが気軽に集まり、語り合える場を提供していきます。

■珠洲市民図書館
〒927-1213　石川県珠洲市野々江町ユ部1番地5
TEL:0768-82-3377

ビブリオバウムで働く人をご紹介

EN COUNTER

**郷土の記憶を未来へつなげる媒介者**

歴史公文書・郷土資料課
あべ　つよし さんを アーカイブ！

### 担当のお仕事は？



石川県関係資料の収集や利用者からの質問に本を通して回答しています。
「石川コレクション」の資料の収集もしています。

### 石川県関係資料について

地域で発行される資料には、その土地でしか入手できないものがあります。図書館が収集しなければ、そこに記された郷土の記憶が永遠に失われてしまいます。将来の利用者に地域の歴史や文化を伝えるためにも、これらの資料を網羅的に収集しています。



### 「石川コレクション～」って？

県の特徴である里山里海と伝統文化に関係する資料を収集、提供しています。
内容に県に関する記述がなくても、関連する資料は積極的に収集し、広い視点から県の特徴を捉えられます！！SHOSHO ISHIKAWAに、石川コレクションのページがありますので、是非ご覧ください。

### 趣味

映画館に行って、映画を観ること。



## 利用案内

■ 貸出冊数 ： 10冊まで

■ 貸出期間 ： 3週間（延長1回まで・3週間）

■ 利用者カードを作るとき

当館のホームページや館内の図書検索機から事前に仮登録のうえ、2F総合カウンターで本登録を行ってください。
（本登録の際は保険証など住所と氏名が確認できるものが必要です。）※利用者カードの有効期限は5年です。

■ セルフステーションでできること

「図書検索機」では、タイトルや著者名などから本や雑誌を探すことができます。
「セルフ貸出機」の上に借りたい本をまとめて積み、利用者カードのバーコードをかざして冊数を入力すると、貸出処理できます。
「座席予約機」では、グループ活動室、サイレントルームなど利用に当たって予約が必要な場所の予約をすることができます。

■ 本の返し方

館内の「図書返却ポスト」に入れてください。

ホームページ　公式X（Twitter）アカウント　公式Instagram アカウント

## みんなたのしく

**マナーを守って百万石ビブリオバウムを楽しみましょう。**

■ 当館は会話のできる図書館です。
■ 閲覧エリアから本を持ちだすときは貸出処理をお願いします。
■ 本の複写には申請が必要です。
■ 貴重品はご自身で管理しましょう。
■ 飲食は決められた場所で。
（閲覧エリアはふたの付いた飲み物のみOK）

石川県立図書館 Ishikawa Prefectural Library　百万石ビブリオバウム

920-0942 石川県金沢市小立野2丁目43番1号
Tel 076-223-9565（代表）

○開館時間
閲覧エリア　平日9:00-19:00 ／土日祝 9:00-18:00
文化交流エリア　平日9:00-21:00 ／土日祝 9:00-18:00

○休館日
月曜日（祝日の場合は火曜日）
年末年始および特別整理期間
（2026/12/21～2027/1/25）

○貸スペースの貸出しも可能です
［Tel 076-223-9565（ガイダンス番号4）］
研修室、だんだん広場、食文化体験スペース、屋外広場

【駐車場】400台/入庫後30分無料、以降30分ごとに100円
（図書館利用者は駐車場割引機での手続きにより3時間無料）

【路線バス】「石川県立図書館」「崎浦・県立図書館口」で下車

土日祝は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

マイキャレル（年2回発行・3月/9月）

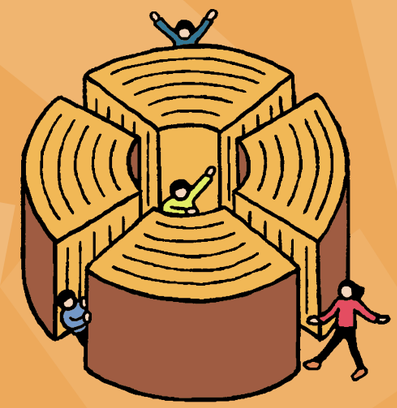
# マイキャレル

ISHIKAWA LIBRARY JOURNAL

2026 September
vol.9

百万石ビブリオバウムを
もっと楽しむための情報誌

**リングー本の歴史を巡るー**



石川県立図書館
Ishikawa Prefectural Library

キャレルとは、図書館にある個人用の閲覧席のこと。
「マイキャレル」では、県立図書館のさまざまな機能や施設、企画などをご紹介。図書館を「あなたのもの」として、ご活用ください！







ビブリオバウムの 4 階に行ってみたことはありますか？「館内を見渡せるフロア」や「床が青いところ」として覚えている方もいるかもしれません。でも実は、4 階は「リング」と呼ばれ、本の歴史がわかる場所なんです！景色を眺めながらひと休みするのもいいですが、本の世界がどのくらい広く深くバラエティに富んでいるのかを知るのもおすすめですよ。






## リング

グレートホール最上部の 4 階は、「リング」と呼ばれる回廊式の閲覧空間です。1 周およそ 160 メートルあり、グレートホール全体を見渡せる絶好のビューポイントとしても人気があります。

しかし、リングの魅力は眺めだけではありません。本誌 Vol.7 でご紹介した「本と出会う 12 のテーマ」のうち、「本の歴史を巡る」がリング全体に展開されているのです。

ぐるりと 1 周してみると、本の歴史の始まりから現代に至るまでの流れを自然に学べるようになっています。情報の電子化が進み、本の形も多様化している今だからこそ、本の長い歴史を振り返ってみませんか。普段あまり意識することのない「本を通じた世界の歩み」にふれられる、リングならではの展示をぜひお楽しみください。

## 本の歴史を巡る

私たちにとって身近な存在である本ですが、その歴史は数千年にも及ぶといわれています。長い年月のなかで、本はさまざまな形に姿を変えながら、人々へ知識や情報、物語を届けてきました。リングでは、本の歴史を 12 の主題に分けて、実物資料やパネル展示とともに紹介しています。「01 本のはじまりと図書館の歴史」から 4 階をぐるっと一周して展示を見ていくことで、本がどのように生まれ、発展してきたのかを知ることができます。

本の歴史とは、人類の知の営みの歴史でもあります。ビブリオバウムならではのゆったりとした空間の中で、本と人との歩みをたどるひとときを楽しむことができます。

### 世界で愛されるファンタジー

『星の王子様』『精霊の守り人』『ハリーポッターと賢者の石』…。古今東西、様々な人々がどこかや誰かを思い描き、物語を紡いできました。皆さんもファンタジーの世界へ飛び込んでみませんか？




### 洋書を愉しむ

ここでは様々な洋書を取り扱っています。
外国の小説だけでなく、日本を紹介する本や文芸書、マンガの英語版まで並んでいます。
誰もが知るあの作品も！






## 館長のおすすめ

4F リングの蔵書から、館長におすすめをききました！

### ①大沢文庫 ―ヨーロッパにおける本の歴史を学べる―

さまざまな言語の本が並んでいるのもリングの魅力。中でも大沢文庫を特におススメします。金沢大学教授や金沢美術工芸大学学長を歴任し、日本の英文学研究の発展に大きく貢献された大沢衛先生。リングでは、先生の逝去後にご遺族から寄贈された、国内外の英文学に関する資料を一部公開しています。近世から近代にかけてヨーロッパで刊行された貴重な図書が数多く収められていて、本の歴史や文化の変遷が感じられます！



### ②時代をうつす文芸書




図書館が昔貸していた本がビックリ大変身！旧館時代によく借りられていた文芸書を年代順に並べ直したら、戦後の文芸出版史のコーナーに生まれ変わりました!!

終戦後、戦時下の言論統制が解かれると、出版活動は再び活況を呈し、人々は多くの文芸作品に親しみました。時代ごとのベストセラーは、その時々の流行や社会の動きを映し出す鏡です。

### ③ブリタニカ百科事典（第9版）




17～18世紀のヨーロッパでは、海を渡って世界各地を探検した人々によって、多くの百科事典や博物誌が編まれました。代表的な成果の一つが、『ブリタニカ百科事典』です。その中でも、当館が所蔵する第 9 版（1875～1889 年刊）は、歴代のブリタニカの中でも特に高い評価を受ける版として知られています。各分野の第一線で活躍した研究者や専門家が執筆を担当し、19 世紀の西洋知識人たちの知の到達点を今に伝えています。

ぜひ実際に手に取って、時代を切り開いた人々の「知」の世界に触れてみてください。ただ、刊行から長い年月を経た貴重な資料のため、お取り扱いにはご配慮をお願いいたします。